

2023年3月7日

主催（公財）ミズノスポーツ振興財団

共催（公財）日本スポーツ協会

（公財）日本オリンピック委員会

「2022年度 ミズノ スポーツメントール賞」受賞者決定

（公財）ミズノスポーツ振興財団では、（公財）日本スポーツ協会、（公財）日本オリンピック委員会と共催で、1990年度から「ミズノ スポーツメントール賞」を制定しており、2022年度で33回目となりました。この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的に制定したものです。

3月7日（火）、グランドプリンスホテル高輪で選考委員会を開催し、以下の通り、受賞者を決定いたしました。

なお、この「ミズノ スポーツメントール賞」の表彰式は、4月20日（木）にグランドプリンスホテル新高輪で行う予定です。

【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】（トロフィー、副賞200万円）

ヨハン デヴィット氏（日本スケート連盟／前スピードスケートナショナルチーム
ヘッドコーチ）

【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】（トロフィー、副賞各100万円）

工藤 轟 氏（千葉県スポーツ協会／スポーツ全般 軟式野球コーチ）
内田 隆幸 氏（日本陸上競技連盟／愛知製鋼株式会社 アドバイザーコーチ）
中野 園子 氏（日本スケート連盟／フィギュアスケート インストラクター）

【ミズノ スポーツメントール賞】（トロフィー、副賞各50万円）

井上 眞一 氏（日本バスケットボール協会／桜花学園高等学校バスケットボール部
ヘッドコーチ）

古根川 実 氏（全日本柔道連盟／大阪府警察 一般職員 師範）
佐久本 嗣男 氏（全日本空手道連盟／劉衛流龍鳳会 会長）
梅澤 光枝 氏（群馬県スポーツ協会／スポーツ全般 スポーツプログラマー、
アシスタントマネージャー）

塩野 潔 氏（埼玉県スポーツ協会／スポーツ全般 スポーツドクター）
丸岡 近賀子氏（東京都体育協会／水泳 競泳コーチ）

瀬田漕艇倶楽部 指導者グループ（滋賀県スポーツ協会／ボート）

滝 明子 氏（兵庫県スポーツ協会／卓球 卓球コーチ）

増田 和茂 氏（日本パラスポーツ協会／車いすバスケットボール等
日本パラスポーツ協会・公認上級障がい者スポーツ指導員、
日本パラスポーツ協会・公認障がい者スポーツコーチ）

詳細は別記の通りです。

記

名 称 : 2022年度 ミズノ スポーツメントール賞

目的及び : 過去継続して我が国における優秀選手の育成に努めた指導者およびその周辺の指導
選考基準 : 者、ならびに長年にわたり継続して地域スポーツの振興に尽力した指導者の顕彰

選考委員 : 委員長 山下 泰 裕 ((公財)日本オリンピック委員会 会長)
委員 上 治 丈太郎 ((一社)日本スポーツツーリズム推進機構 理事)
" 大 野 敬 三 ((公財)日本スポーツ協会 常務理事)
" ヨコ ゼッターランド ((公財)日本スポーツ協会 常務理事)
" 佐 藤 直 子 ((公財)日本スポーツ協会 監事)
" 星 野 一 朗 ((公財)日本オリンピック委員会 専務理事)
" 小 谷 実 可 子 ((公財)日本オリンピック委員会 常務理事)
" 水 野 英 人 ((公財)ミズノスポーツ振興財団 副会長)

※順不同

対 象 者 : 国内外を問わず我が国の競技スポーツの指導者および地域スポーツの指導者

受賞者及び選考理由 :

【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】

ヨハン デヴィット氏 43歳(1979. 7. 14生)

(日本スケート連盟/前スピードスケートナショナルチーム ヘッドコーチ)

2015年5月から2022年4月までの7年間スピードスケートナショナルチームヘッドコーチに就任。オランダ流の自転車トレーニングおよび科学的データに基づくトレーニングを導入し世界のトップレベルへ引き上げる。2022年北京オリンピックで高木美帆選手を直接指導し1000mで金メダル、500m、1500mで銀メダルを獲得(現在も指導)、またチームパシュートを直接指導し銀メダルをもたらした。同大会では、森重航選手も直接指導し500mで銅メダルを獲得、その他、22年世界スピードスケート選手権大会(オールラウンド)で高木美帆選手が総合2位となる。日頃より選手との対話を重視し、精神的な不安材料を取り除く能力が非常に優れている。

【指導(サポート)した主な選手、チーム】

高木 美帆 '22 第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京)

女子1000m 1位、女子500m・1500m 2位

'22 ISU世界スピードスケート選手権大会(オールラウンド) 総合2位

高木 美帆/佐藤 綾乃/高木 菜那

'22 第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京) 女子チームパシュート 2位

森重 航 '22 第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京) 男子500m 3位

【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】

工藤 轟(くどう そく)氏 88歳(1934. 4. 8生)

(千葉県スポーツ協会/スポーツ全般 軟式野球コーチ)

茂原市スポーツ推進委員(旧 茂原市体育指導委員)として、生涯スポーツに親しむ環境づくりに努め、50年以上に渡り地域のスポーツ推進に尽力している。

また、茂原市スポーツ少年団では本部長としてスポーツを通じた青少年の健全育成に取り組むほか、千葉県スポーツ指導者協議会では理事長として、地域のスポーツ指導者の育成に努め、青

少年から高齢者まで幅広い世代にスポーツの楽しさを伝えるほか、地域のスポーツに関する課題に取り組み、近年はパラスポーツの普及に努めるなど、スポーツ需要に柔軟に対応し、様々な角度から地域のスポーツを推進し、様々なスポーツを通じて地域スポーツの普及・振興に献身的に貢献している。

内田 隆幸（うちだ たかゆき）氏 77歳（1945.11.16生）

（日本陸上競技連盟／愛知製鋼株式会社 アドバイザーコーチ）

ジュニア期からシニア期（中長期的）に渡り、世界で活躍する選手を数多く輩出している。世界選手権、オリンピック競技大会においてもメダリストを数多く輩出している。

2022年度に開催された世界選手権では、日本初となる世界選手権二連覇を達成した山西利和選手を日ごろから指導、世界大会で活躍する選手を継続して指導しつつ、新たに世界で活躍する選手も育成している。

【指導（サポート）した主な選手】

諏方 元郁	'22	第29回世界競歩チーム選手権 20km 競歩団体	2位
山西 利和	'22	第18回世界陸上競技選手権大会 20km 競歩	1位
	'21	第32回オリンピック競技大会（2020/東京）男子 20 km競歩	3位
	'19	第17回世界陸上競技選手権大会 男子 20 km競歩	1位
丸尾 知司	'17	第16回世界陸上競技選手権大会 男子 50 km競歩	4位
鈴木 雄介	'05	世界ユース陸上競技選手権大会 10000m競歩	3位
	'04	アジアジュニア陸上競技選手権大会 10000m競歩	5位

中野 園子（なかの そのこ）氏 70歳（1952.10.16生）

（日本スケート連盟／フィギュアスケート インストラクター）

2022年北京オリンピックにおいて銅メダルを獲得し、同年開催の世界選手権で金メダルを獲得した坂本花織選手を指導。五輪団体戦においても日本初メダル（銅メダル以上）の獲得に導いた。兵庫県在住・拠点としている坂本花織選手、三原舞依選手については、競技開始から現在に至るまで、一貫して指導をしている。

兵庫県を拠点として、長年、選手の育成、強化、競技の普及（地域スポーツの普及含む）に尽力し通年リンク建設（兵庫西宮）において、指導した選手の活躍が果たした役割は大きい。人間力の向上にも重きを置き、選手の自立を重要視し、また個性を尊重、選手とともに学ぶ姿勢を持った指導者である。競技会において、選手の能力・実力を引き出し、選手が満足する結果を得るサポートに長けている。

【指導した（サポート）した主な選手】

坂本 花織	'22	第24回オリンピック冬季競技大会（2022/北京）女子シングル	3位
	'22	ISU 世界フィギュアスケート選手権大会 2022 女子シングル	1位
	'22	第91回全日本フィギュアスケート選手権大会女子シングル	1位
	'21	第90回全日本フィギュアスケート選手権大会女子シングル	1位
	'18	第23回オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）女子シングル	6位
三原 舞依	'22	ISU グランプリファイナル 2022/2023 女子シングル	1位
	'22	ISU 四大陸フィギュアスケート選手権大会 2022 女子シングル	1位
	'19	第29回ユニバーシアード冬季競技大会（2019/クラスナヤ）女子シングル	1位
壺井 達也	'22	ISU 世界フィギュアスケートジュニア選手権大会 2022 男子シングル	3位

【ミズノ スポーツメントール賞】

井上 眞一（いのうえ しんいち）氏 76歳（1946.10.5生）

（日本バスケットボール協会／桜花学園高等学校バスケットボール部 ヘッドコーチ）

1980年より全国中学校大会にて守山中学校大会6連覇達成。名古屋短期大学付属・桜花学園高校にてインターハイ25回、ウインターカップ24回、国民体育大会21回の計70回優勝に貢献。

また女子トップリーグ・Wリーグにおいて全登録選手 182 名中 26 名（14%）の桜花学園高校出身選手（2021-2022 シーズン）を指導。東京 2020 オリンピックにて 5 人制日本代表（高田真希、三好南穂、馬瓜エブリン）、3x3 日本代表（馬瓜ステファニー、山本麻衣）の 5 名を輩出。その他、女子アンダーカテゴリー日本代表コーチも歴任。

【指導（サポート）した主な選手】

高田 真希 '21 第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）女子 2 位
三好 南穂 '21 第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）女子 2 位
馬瓜 エブリン '21 第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）女子 2 位
渡嘉敷 来夢 '16 第 31 回オリンピック競技大会（2016/リオデジャネイロ）女子 8 位
大神 雄子 '04 第 28 回オリンピック競技大会（2004/アテネ）女子 10 位
山田 かがり '96 第 26 回オリンピック競技大会（2004/アトランタ）女子 7 位

古根川 実（こねがわ みのる）氏 44 歳（1978. 11. 11 生）

（全日本柔道連盟／大阪府警察 一般職員 師範）

全日本柔道連盟では 60 kg 級及び 66 kg 級の強化担当コーチとして 2012 年の就任以降、選手所属先との連携を図りながら選手の強化及びコンディション調整に努め、オリンピックや世界選手権等数々の国際大会で選手を好成績に導いている。

担当 2 階級において、2016 年リオオリンピックでは銅メダル 2 個、東京 2020 オリンピックでは金メダル 2 個の獲得に貢献した。その他、2022 年 10 月タシケントで開催された世界柔道選手権大会では、担当 2 階級での金メダル 2 個、銀メダル 1 個の獲得など、中・長期に渡り日本柔道の強化に貢献しており、2024 年パリオリンピックでも担当階級の活躍が多いに期待される。

【指導（サポート）した主な選手】

高藤 直寿 '22 世界柔道選手権大会（タシケント）男子 60kg 級 1 位
阿部 一二三 '22 世界柔道選手権大会（タシケント）男子 66kg 級 1 位
丸山 城志郎 '22 世界柔道選手権大会（タシケント）男子 66kg 級 2 位

佐久本 嗣男（さくもと つぐお）氏 75 歳（1947. 12. 13 生）

（全日本空手道連盟／劉衛流龍鳳会 会長）

沖縄伝統の「劉衛流」に所属し、自身も現役時代はその磨いた技で世界選手権 3 連覇するなど、高い技術力を擁している。伝統的な指導に頼らず、時間の大切さを理解させながら PDCA サイクルを実践し、より効果的な指導の研鑽を行なっている。

2000 年から指導を始めた日本女子団体形チームは 4 度の世界選手権で非常に優秀な成績を収めた。また 2010 年から本格的に指導を始めた喜友名諒選手は 2012 年の世界選手権大会で第 3 位を獲得、2014 年の世界選手権で初優勝、2020 年の世界選手権まで 4 連覇達成、全日本大会では 10 連覇を果たした。東京 2020 オリンピックにて金メダルを獲得した。

男子団体形では、2016・2018 年の世界選手権で金メダルを獲得。同チームはアジア選手権で第 13 回大会から第 18 回大会まで 6 連覇を達成するなど、永きに亘りその卓越した指導力で世界トップレベルの選手を育成している。

【指導（サポート）した主な選手、チーム】

喜友名 諒・金城 新・上村 拓也
'22 第 18 回アジアシニア空手道選手権大会男子団体形 1 位
'16 世界空手道選手権大会男子団体形 1 位
'18 世界空手道選手権大会男子団体形 1 位
喜友名 諒 '21 第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）男子形 1 位
'20 世界空手道選手権大会男子形 1 位
'18 第 18 回アジア競技大会（2018/ジャカルタ・パレバン）男子形 1 位
'18 世界空手道選手権大会男子形 1 位
'16 世界空手道選手権大会男子形 1 位

- ’14 世界空手道選手権大会男子形 1位
豊見城 あずさ・嘉手納 由絵・清水 由佳
’04 世界空手道選手権大会女子団体形 1位
嘉手納 由絵・清水 由佳・金城 さゆり
’08 世界空手道選手権大会女子団体形 1位

梅澤 光枝 (うめざわ みつえ) 氏 74歳 (1949. 1. 19生)

(群馬県スポーツ協会/スポーツ全般 スポーツプログラマー、アシスタントマネージャー)

永年にわたり、地域住民を中心に子供から大人まで軽スポーツ、器械体操、トランポリン、レクリエーション指導など幅広く、スポーツの推進・県民の健康保持・増進に貢献している。

また、健康スポーツ指導者協議会設立後も役員(現副会長)として、健康スポーツ指導者の育成にも尽力し、県内クラブの普及・育成や多くのクラブの立ち上げに携わってきた。自身が経験してきた知識を活かし、県内各地のスポーツクラブに対し、適切な指導・助言を行うなど資格を活かした指導力は高く評価されている。

塩野 潔 (しおの きよし) 氏 77歳 (1945. 6. 27生)

(埼玉県スポーツ協会/スポーツ全般 スポーツドクター)

1987年に本県のスポーツ科学の発展を図るため、埼玉県スポーツ協会スポーツ科学委員会設立に尽力し、以降、副委員長として、スポーツ医科学の普及発展、競技力向上に務め、継続的に国民体育大会帯同ドクターとして県選手団の活動を支援するなど、競技力向上に多大なる貢献をしている。

また、多世代、多種目型の総合型地域スポーツクラブの創設にも尽力するなど、現在もNPO法人浦和スポーツクラブ会長を務めスポーツ振興に携わっているほか、多くのボランティア活動を通して地域に貢献され、さらに健康スポーツ医の後進育成に当たっている。

丸岡 近賀子 (まるおか ちかこ) 氏 77歳 (1945. 3. 12生)

(東京都体育協会/水泳 競泳コーチ)

1983年三鷹市水泳連盟理事に就任以来、永年に渡り、普及指導部長、副会長、会長などの要職を努め、初級者から上級者までの泳力向上を図る指導体制を確立し、三鷹市水泳連盟事業の指導者としても、ジュニア層及びシニア層への水泳普及活動に率先して取り組み、充実した指導が行えるように尽力している。

また、体育協会では、副理事長として、大会や講習会を通じ、幅広い市民の健康増進・持続的な普及活動に努めるとともに、技術向上と健康の両面を指向したスポーツの普及にも貢献している。

NPO法人瀬田漕艇倶楽部 (せたそうていくらぶ) 指導者グループ

(滋賀県スポーツ協会/ボート)

1977年の創設以来アスリートの育成のみならず、青少年育成・生涯スポーツを通じた社会貢献に取り組んでいる。

また、全日本選手権や世界選手権に選手を輩出するなど競技力向上や組織内における指導者人材育成にも尽力する一方で、幅広い年齢層が拠点とする総合型地域スポーツクラブとしての活動も続けるなど、トップ選手から入門者までの幅広い競技レベルにアプローチし、競技経験の無い市民にもボートを楽しむ機会を提供し、地域に根差した活動をしている。

滝 明子 (たき あきこ) 氏 83歳 (1939. 11. 3生)

(兵庫県スポーツ協会/卓球 卓球コーチ)

永年にわたり、神戸市レディース卓球連盟の会長を務め、大会の企画・運営の中心となる一方で、現在も指導者としてきめ細かな指導により初心者を中心に生涯スポーツとして馴染みやすい

卓球の普及に尽力し、多くの生徒や卓球愛好家を育成している。

また、兵庫県卓球協会レディース委員会の委員長として、女性部門の地域スポーツの普及および振興に努めるほか、兵庫県の卓球審判員の育成、指導において豊富な経験と知識をもって後進の育成に貢献し、自身も審判員として現在も活躍している。

増田 和茂(ますだ かずしげ)氏 71歳(1952.1.4生)

(日本パラスポーツ協会/車いすバスケットボール等

日本パラスポーツ協会・公認上級障がい者スポーツ指導員、
日本パラスポーツ協会・公認障がい者スポーツコーチ)

一つの競技にとどまらず、パラスポーツの様々な競技に携わり、競技団体等の組織づくりを積極的に行うなど地域におけるパラスポーツの普及・発展に努める他、障害者スポーツ指導者の活用にも目を向け、指導者向けの研修会、競技研修などを行うなど、指導者の資質向上にも力を注いでいる。

また、1988年ソウルパラリンピックでは、日本パラ陸上競技連盟コーチとしてメダル獲得に導き、1992年バルセロナパラリンピックの車いすバスケットボール連盟の全日本女子コーチとして日本代表選手を指導するなど競技力向上にも尽力している。

以上

※年齢は23年3月7日時点

(お問合せ先)

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団事務局 藁澤・澤井
ミズノ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 木水

TEL. 03(3233)7009

TEL. 03(3233)7037